

奈良女大家政 ○吉川清兵衛
中尾 久代

1. 従来から漂白剤としてサラン粉，次亜塩素酸ナトリウム，塩素化イソシアヌル酸塩などの塩素系漂白剤が知られているほか，過酸化水素，過ホウ酸ナトリウムなども繊維傷害の少ないものとして注目されている。最近粉末状で取扱いの便利な次亜塩素酸リチウム (LiOCl) がみられているが，このものの漂白性についてのデータは 1, 2 あるにすぎない。そこでわれわれは比較的不安定な次亜塩素酸ナトリウム (NaOCl) と比較して，このものの漂白性を明らかにし，新しい漂白剤として考えたい。

2.3. 用いた LiOCl は Av. Cl 36.1%， NaOCl のそれは 12.1% である。まず漂白効果を染料溶液の退色によってしらべた。染料は Orange R, Congo Red であり，これらの染料溶液に種々の濃度に漂白剤を加え，温度，pH を変えて時間経過と染料残存率を比色法によって求めた。 LiOCl は NaOCl よりも退色速度はやや緩慢であった。つぎに両漂白剤溶液の pH をしらべたが，各濃度においてほとんど変らない。安定性は 25°C , 60°C において残留塩素量によってしらべたが， LiOCl は NaOCl よりも各 pH 値において安定であった。未晒モメン布について両漂白剤の使用量，漂白時間，漂白温度，漂白時の pH がモメン布の白度，強度におよぼす影響をしらべたが， LiOCl は漂白時間が NaOCl より少し長くかかるようであるが，他の影響は NaOCl よりも大体すぐれていることが分った。なお次亜塩素酸塩の漂白機構についても 2, 3 考察した。